

【秘密】

葛飾区サッカー連盟一般部所属チーム各位

■ 不祥事について

10/2(日)に奥戸陸上競技場において発生しました 2 件の重大な事件について、事件内容および処分内容を皆さまにご報告いたします。

1. 暴行未遂事件

1 部の試合(D-TRY vs 市立川北)において、試合途中に選手同士（市立川北：水越選手、D-TRY：武藤選手）の口論から一触即発の状態となり、著しく品位のない暴言を繰り返した市立川北の水越選手が退場となりましたが、判定不服のため、ベンチ外に戻る際も暴言を繰り返す。

試合終了後、同選手がグラウンドに戻り、口論した選手に詰め寄るも、当該チームの関係者に止められ、一時グラウンドの外に退出したが、グラウンド外にて関係者同士で口論に近い話し合いをしていたが、和解まで至らないが、チーム代表者同士にて話をまとめ、騒動を終息。

しかし、この騒動の際に、主審担当者がグラウンド管理者に身の危険を感じ、保護を求めたため、グラウンド管理者にて競技場外まで同行して退出する。

2. 暴言事件

ナイターにおいて、本来 18 時から入場する選手が、17 時頃からスタンドに入場しており、当日は区民リーグ枠（昼間）から連盟枠（夜）を連続して使用する予定でしたが、グラウンド手続きができていなかったため、グラウンド管理者から競技場からの一時退出が出たにも関わらず、下丸子三丁目の 2 名の選手がグラウンド管理者に悪態（暴言を吐く）つきながら退出した。

3. グラウンド管理者からの抗議

上記 2 件の事件でグラウンド管理者から一般部のリーグ戦管理について抗議。

一般部の奥戸利用禁止を含め、行政まで報告する旨を伝えられる。

一般部として事情聴取を行い、役員会議にて仮処分を決定、連盟本部の正式決定をもって処分内容とリーグ戦管理方法を報告し、暴言をした当事者の謝罪を約束する。

4. 処分内容

(1) 暴行未遂事件

- 水越選手 : 来シーズンまで出場停止
- 武藤選手 : 今シーズン残り試合出場停止
- 市立川北 : 今シーズン残り試合出場停止 (不戦敗)
- D-T R Y : 今シーズン残り試合出場停止 (不戦敗)

(2) 暴言事件

下丸子三丁目の暴言の当事者2名および代表者は、連盟本部付き添いのもとグラウンド管理者に直接、謝罪する。

5. 今回の事件について

2件の事件は非常に残念であり、当事者の行動については許されない行為であります。
サッカーにルールがあるように、社会にもルールがあります。
今回の事件の当事者に処分をすれば済む話ではありません。
今回の事件で数多く関係者が時間を費やし、グラウンド管理者に謝罪をしております。
連盟本部からは一般部は、他の少年部や中等部に対して見本になるような部として期待されていましたが、今回の事件で一般部全体の信用を失墜しております。
来年度以降、一般部の奥戸利用は非常に厳しい状況であり、辞退することも考えております。
このような問題を起こしてしまった以上、信頼回復に努める他に何もありません。
この信用を回復するには、皆さまの一つ一つの行動の積み重ねが大事です。
サッカーだけであれば本当に良いのか・・・ということは今一度、チーム内で話し合ってください。
サッカーをするには環境が必要であり、その環境を整える関係者がいることも理解してください。

— 以 上 —

葛飾区サッカー連盟一般部
部長 多賀 洋一郎